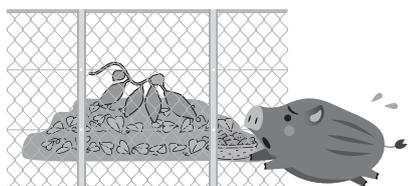


農作物被害対策 3本柱



- ①防護柵の設置
(電気柵や金網など)
- ②追払い(音、光、におい)
- ③防鳥ネット

侵入防止

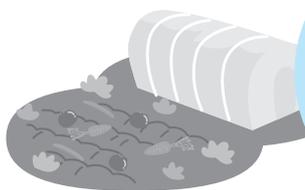
地域ぐるみで

継続的に

動物の種類と
被害状況に
合わせて

生息環境管理

- ①収穫後の残渣・放置果実ゴミなどの処理
- ②隠れ場所の排除



個体群管理

- ①罠・狩猟によって捕獲



もう一度、自分の周りを確認してみませんか？

- ①人が被害と思わない「エサ」がないですか？
- ②侵入防止柵は正しく設置されていますか？
- ③農地周辺に隠れる場所はありませんか？
- ④野生動物に人里の「便利さ」を学習させていませんか？

小さな1歩がスタートです！！

有害鳥獣捕獲を実施しています。

事故防止には万全を期していますが、時期によっては銃器を使用しますので、入山の際には目立つ服装をしていただくなど、ご協力をお願いします。

実施期間 令和7年4月1日(火)～令和8年3月31日(火)

捕獲方法 箱わな

対象鳥獣 イノシシ

※くくり罠や小動物の捕獲は、随時行っています。

	R5	R6
イノシシ	148	271
アライグマ	32	96
タヌキ	60	75
ハクビシン	18	42

※1年間(4月～3月)の捕獲頭数

タヌキ・ハクビシン・アライグマ用

小型箱わなを貸し出します

町内の農作物の被害対策として、タヌキ・ハクビシン・アライグマの捕獲が許可された期間のみ、小型箱わなの貸出しを行っています。申請には、必要書類や確認事項などがあります。なお、野生鳥獣は、鳥獣保護法等で保護されており許可なく捕獲することは違法です。また、無許可で設置した箱わなで捕獲された鳥獣の処分については、自己責任となりますのでご注意ください。詳細は、農業政策課までお問い合わせください。

許可期間 7月1日(月)～9月30日(月) ※小型箱わなの台数には限りがあります。

柵の種類	ポイント	注意点
電気柵	地上から20cm、40cmの2段張りが効果的。 (中型動物は1段目の高さが10cmの3段張り)	漏電防止のため草刈りと除草剤の併用や防草シートを活用する。
トタン柵	高さを80cm以上にし、中の作物を見せない「目隠し効果」を利用する。	隙間なく地面に埋め込み、強度のある柱で両側から固定する。
金網柵	高さ150cm以上が効果的。	隙間なく地面に埋め込み、強度のある柱で両側から固定する。ネット柵との併用も効果的。
ネット柵	網目が10cm以下の獣害専用ネットが効果的。 内側には目隠し効果のあるシートを張り、外側はネットを1m垂らし、先端を杭で固定する。	1m斜めにネットを張り、飛び越えにくいように設置固定する。